Part I はじめに

piyopiyo

概要

この文書では私がよく使うくせに、自己の記憶媒体に中々収まりきらない式変形等をまとめたものである.

Part II 数学定義の章

線形代数

線形代数に関する定義を掲載しています.

2.1 正則行列

n 次正方行列 A に対して $AX=XA=E_n$ を満たす n 次正方行列 (逆行列という) $X(A^{-1})$ が存在するとき, A は正則行列であるという.

2.2 随伴行列

(m, n) 型行列に対して、共軛転置 ${}^t\overline{A}$ を随伴行列という.

2.3 Hermite 行列·対称行列

 $A^* = A \Leftrightarrow n$ 次正方行列 A が Hermite 行列. また, 対称行列とは実 Hermite 行列のこと.

2.4 Unitary 行列・直交行列

 $A^*A = E_n \Leftrightarrow n$ 次正方行列 A が Unitary 行列. また, 直交行列とは実 Unitary 行列のこと.

Part III 数学公式の章

三角関数

三角関数に関する公式・式変形等を掲載しています.

3.1 3倍角の公式

$$\sin 3\theta = 3\sin \theta - 4\sin^3 \theta$$

$$\cos 3\theta = 4\cos^3 \theta - 3\cos \theta$$
(3.1)

3.1.1 導出の手続き

hoge

注意

hoge

3.2 積和の公式

$$\sin \alpha \cos \beta = \frac{\sin(\alpha+\beta) + \sin(\alpha-\beta)}{2}$$

$$\cos \alpha \sin \beta = \frac{\sin(\alpha+\beta) - \sin(\alpha-\beta)}{2}$$

$$\sin \alpha \sin \beta = -\frac{\cos(\alpha+\beta) - \cos(\alpha-\beta)}{2}$$

$$\cos \alpha \cos \beta = -\frac{\cos(\alpha+\beta) + \cos(\alpha-\beta)}{2}$$
(3.2)

3.2.1 導出の手続き

加法定理の加減から導出する.

注意

hoge

3.3 和積の公式

$$\sin A + \sin B = 2 \sin \frac{A+B}{2} \cos \frac{A-B}{2}
\sin A - \sin B = 2 \cos \frac{A+B}{2} \sin \frac{A-B}{2}
\cos A + \cos B = 2 \cos \frac{A+B}{2} \cos \frac{A-B}{2}
\cos A - \cos B = -2 \sin \frac{A+B}{2} \sin \frac{A-B}{2}$$
(3.3)

3.3.1 導出の手続き

積和の公式から導出する.

注意

 $\alpha + \beta$ と置き換える.

積分

- 4.1 6分の1公式
- 4.2 12分の1公式

線形代数

5.1 Schwartzの不等式・三角不等式

$$|(a,b)| \le ||a|| \cdot ||b||$$

 $||a+b|| \le ||a|| + ||b||$ (5.1)

複素解析

Part IV 数学の簡便な結論を纏めた章

微分方程式

7.1 常微分方程式

7.1.1 定数係数 2 階線形微分方程式

a,bを実定数とし、2 階斉次微分方程式 y''+ay'+by=0 を考える. 特性方程式 $\lambda^2+a\lambda+b=0$ の 2 根を λ_1,λ_2 とする. このとき、一般解 y(x) は、 C_1,C_2 を任意定数として、

$$y(x) = \begin{cases} C_1 e^{\lambda_1 t} + C_2 e^{\lambda_2 t} \\ when \ \lambda_1 \neq \lambda_2, (\lambda_1, \lambda_2 \in \mathbb{R}) \\ C_1 e^{\lambda_1 t} + C_2 t e^{\lambda_1 t} \\ when \ \lambda_1 = \lambda_2 \\ e^{\alpha t} (C_1 cos\beta t + C_2 sin\beta t) \\ when \ \lambda_1 = \alpha + i\beta, \lambda_2 = \alpha - i\beta, (\alpha, \beta \in \mathbb{R}, \beta > 0) \end{cases}$$

$$(7.1)$$

で与えられる.

Part V 物理学の章

物理量

- 8.1 慣性モーメント
- 8.2 波長
- 8.3 波数

近似式